

平成 28 年度事務事業評価表(一般用)

事務事業名		部課コード		810700	2995-6311			
事業コード	図書館施設維持管理事業			所沢図書館				
810706				グループ 総務				
開始年度		昭和	55年度	終了年度		平成 年度		
事業の概要	事業の種類	自治事務		法定受託事務		法定受託 + 附加		
	分野別計画・指針	所沢市図書館ビジョン					根拠法令	
	関連・類似事業						図書館法、所沢市立所沢図書館設置条例 同施行規則	
	総合計画の体系	章	教育・文化・スポーツ	節	社会教育	基本方針	図書館機能の充実	
事業開始の背景	生涯学習ニーズの高まりにより昭和55年に本館を、昭和59年に椿峰分館を開館し、図書館利用者が快適に利用できるよう施設の維持管理を行っている。							
事業の内容	目的(どのような効果を目指して実施しているのか、具体的に)							
	図書館利用者にとって、安全で快適に利用できる施設環境を確保するとともに、図書資料等を適切に管理し利用できる施設を維持すること。							
	対象(誰を、何を対象としているのか)	対象数		単位	平成 26 年度	728,635 人		
	主に市内に居住又は通勤・通学する者、及びダイアプラン3市(飯能市、狭山市、入間市)に居住する者				平成 27 年度	726,493 人		
事業の具体的な内容及び実施方法								
<ul style="list-style-type: none"> 日常的な施設内外の安全点検及び機械操作。 定期的実施する施設管理委託事業。 (日常・定期清掃、昇降機点検、自動扉点検、空調設備点検、水質検査、機械警備、害虫駆除、植木剪定など) 施設や設備の修繕を実施。 								
経費	会計種別	一般会計		平成 26 年度 (千円)	平成 27 年度 (千円)	平成 28 年度 (千円)		
	予算現額			27,696	27,962	26,426		
	決算(見込み含む)			30,267	26,244			
	(非常勤特別職員) (臨時的任用職員)	(0.00 人)	(0.00 人)	(0.00 人)	(0.00 人)	「財源内訳」について 平成28年度のみ、当初予算 の内訳となっています。		
	正規職員人件費	1.00 人	8,721	1.84 人	16,047			
	事業費合計		38,988	42,291				
財源内訳	一般財源	38,988	42,291	26,426				
	国・県支出金	0	0	0				
	その他()	0	0	0				
実績	項目名	項目説明	単位	H 26	H 27	H28見込み	将来目標	
	活動実績	設備等の保守	定期的に行っている施設管理業務件数	件	11	11	11	11
		設備等の保守委託料	施設管理業務委託料の合計	千円	20,987	21,923	21,869	23,092
成果	項目名	項目説明	単位	H 26	H 27	H28目標値	将来目標	
	成果指標	施設維持に関する要望	利用者の施設維持に関する要望件数	件	目標値	10	10	8
					実績	5	8	<input type="checkbox"/> 「実績」 拡大図 <input checked="" type="checkbox"/> 「実績」 縮小図
目標達成状況	どれだけ目標に近づいているかを達成率として示しています		%	達成率	200	125	どちらかを チェックしてください	
改善点	(1)27年度中に改善した点(改善内容・その結果について記載してください)			(2)平成27年度成果指標の目標値が未達成の理由・分析				
	所沢図書館本館の受水槽及び高架水槽の改修工事を行い、施設の延命化を図った。また、本館の外灯灯具の交換修繕を行い、利用者の安全の確保を図った。							
評価	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 終了	事業実施方法(複数選択可)	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> その他	理由	保守点検については、法定点検も含めて現状維持とし、日常的な施設の点検及び計画的な施設修繕を行うことにより効率化を図る。			
		次年度予算	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	理由	施設の老朽化に伴う修繕箇所が増加しているが、点検等による修繕箇所の早期発見・部分的な修繕対応により経費を抑える。			
評価	(1)平成28年度に取り組んでいる状況			(2)今後の方向性				
	来館者が、安全かつ快適に利用できる環境を維持するため、老朽化した施設の保守及び修繕を計画的に行うことが必要である。			公共施設等総合管理計画等により管理・検討を行う。				
評価日	平成28年8月19日		評価者職氏名	図書館長 中村 まさみ				
環境影響	有益な環境影響		有害な環境影響を及ぼす原因活動	修繕物等の発生	規制を受ける環境法令等	無	緊急事態	無